

JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

発行人／浅田幸作
発行所／滋賀県立膳所高等学校同窓会
大津市膳所 2-11-1
TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
発行日／平成 21 年 4 月 15 日
編集人／広報部会・山田 勲
印刷／株式会社 松村印刷

URL:http://www.dosokai.ne.jp/zezekoukou
E-mail:zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp



VOL.26

『遵義の桜、さらなる開花』

1898==2009

CONTENS

巻頭エッセー	1
平成21年度総会のお知らせ	1
ラグビー部ニュージランド遠征	2
特集 創立110周年記念事業	2
吹奏楽部創立50周年記念演奏会	3
石鹿文庫	3
同窓会事業のご案内	3
周年記念同窓会報告	4・5・6
バレーボール部OB・OG会	6
周年記念同窓会予告	7
今も心に残る恩師	7
膳所高NEWS	8
会計報告・総会提出議案	別紙
会費納入のお願い	別紙

巻頭エッセー

オープンキャンパスに後輩を迎えて

昭和43年卒業（膳所高16回）
東京大学 大学院工学系研究科 工学博士 樋口 俊郎
精密機械工学専攻 教授



昨年の7月に河原校長から、東大のオープンキャンパスに生徒が参加するとの連絡を受けました。生徒が研究や教育の現場に触れることは、進路の探索に役立ちます。面白い実験や最新の研究成果の紹介など盛りだくさんイベントが用意されており、高校生を対象とした東大のオープンキャンパスの人気は年々高くなっており、全国各地から多数の高校生が参加します。

膳所の生徒達は、夜11時に大津駅からバスに乗り、朝8時に大学前のホテルに着き、荷物を置いて、本郷地区のオープンキャンパスに参加しました。私は、夜の8時からの「先輩と語る会」に招かれ、生徒、河原校長、引率の先生方と宿舎のホテルで歓談する機会を得ました。1年生は男子10名、女子18名、2年生は男子4名、女子3名、3年生は男子3名で、女子生徒が多いのには驚きました。大学においても、女子学生の方が種々の行事に積極的に参加する傾向がみられます。

理系では、修士課程に進学することが一般になってきており、大学院を含めて大学進学を考慮することが大切であることなどを伝えました。

私は数学や理科が好きだったので理系を選び、工学部に進み、大学で教育と研究に携わってきましたが、振り

かえって見ると、膳所高での優れた教育の恩恵を強く受けています。

3年生の時の担任であった八耳順朗先生の授業が印象に残っています。化学の最初の授業の日に、色々な大きさの箱を持ってこられました。そして、箱を開けずに、中に入っているものを推測しなさいというものでした。箱を揺すつたりして、中のものを当てるといふものです。正解は教えてもらえませんでした。嬉しかったことを記憶しています。この授業で、八耳先生は、科学とは、研究とは何かという本質を我々に教えるようとしたのではないかと思います。

八耳先生の「どや樋口（でけたか）」の声の時々頭の中で聞こえます。そして、私も研究室では学生や院生たちに、実験の様子を聞くのに、私は「どや」と言っていて励めています。

多くの恩師に恵まれ、また素晴らしい仲間と一緒に充実した3年を過ごせたことを改めて有難く思います。退職までまだ数年あるので、人材の育成に努めたいと思っています。そして、その中に膳所高の後輩が来ることを大いに期待しています。また、今年のオープンキャンパスでも、膳所高生に会えることを楽しみにしております。

「略歴」

昭和52年3月東京大学大学院博士課程修了
昭和53年4月東京大学生産技術研究所助教授
平成3年11月東京大学工学部精密工学科教授

新入会員

「出会い」

平成21年3月卒業 速水 萌



325人ー私が三年の間に顔と名前が一致した同期生の数。彼ら全員と知り合ったわけではなく、私が一方的に顔と名前を知っているだけの人もいます。実際、私を知っている人はもっと少ないだろう。

117人ー私がまだ知らない同期生の数。同じ校舎で学び、同じ日に卒業するにも関わらず、私は彼らを知らない。顔を合わせたことあるかもしれないが、この三年間では名前を知るキッカケがなかった。同期生でありながら街中ですれ違う人と同じなのである。

私は入学前に配られた名簿に顔と名前が一致した人にマーカーで色をつけていった。その結果がこれなのだ。私がかもつと真剣に全員と知り合おうとしていたら結果は変わっていたかもしれない。しかし、むやみやたらに知り合

えばいいって話でもない。たいていの場合、出会いは何かの接点と共に自然と訪れ、だからこそ「出会い」は新鮮なものであり続ける。もちろん、知り合った人みんなと長い付き合いをする訳ではないし、一日だけの付き合いもある。「何が好きなのか」「夢は何なのか」「どうやって生きてきたのか」「今、何を考えているのか」何年付き合っても他人の全てを知ることはできない。だから、人付き合いは面白い。少なくとも私は人と知り合うことが好きだ。私が出会ってきた人で一人として同じ人はいない。考え方、センス、口調や身振り、みんな独自のものを持っている。言い換えれば、全員が私にはない魅力を持っている。そんな魅力を持った人から私は刺激を受け自分の世界を広げ、自己を形成している。人は出会いによって成長し変化する生き物である。今日の彼は、明日の彼とは違う。だから人は長い付き合いでも飽きない面白いのだ。

滋賀県は交通の利便性と豊かな自然・歴史に恵まれ、高い県民所得や人口増加率を維持しています。しかし、未曾有の世界同時不況が、滋賀県にもその影響を及ぼしつつあります。いまこそ、近江商人のDNA（三つよし）の商道徳や全国を行商した広い視野、進取の気概、「ニュービジネス」への挑戦、アジア、特に中国ビジネスの展開、そして地球環境の縮図といわれる琵琶湖を抱える当県ならではの「環境ビジネス」への取組などを、持続可能な成長路線を築くことが求められます。現状の取組をご紹介します。みなさまとともに考えたいと思います。



昭和42年膳所高等学校卒業／昭和47年大阪大学経済学部卒業、滋賀銀行入行／平成13年取締役審査部長／平成20年代表取締役頭取 現在に至る

講師のプロフィール

懇親会 懇親会にご出席の方は、当日受付にて会費6千円を頂きます。
出席のお返事は同封のハガキでお願いします。欠席の方及び異動のない方はご返事不要です。

講師の講演

「滋賀県経済の現状と課題」
講師 大道 良 夫 氏
(膳所高校15回 昭和42年卒)
滋賀銀行代表取締役頭取
*滋賀県銀行協会会長、滋賀経済同友会副代表幹事など業界及び経済団体で活動

議事

- 一、平成20年度会務報告・部会報告
- 一、平成20年度会計報告・会計監査報告
- 一、役員改選
- 一、平成21年度事業計画・予算案
- 一、その他

場 所

大津プリンスホテル プリンスホール
大津市におの浜4丁目7-7
電話 077-(521)-1111

平成二十一年度 定例総会

●日時 平成21年5月17日(日) 午前10時開会(午前9時30分 受付開始)

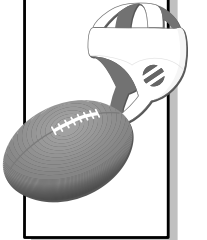
●本年度の総会に皆様方多数のご出席をお願い申し上げます。

本年の総会は5月17日(日) 平成21年度 総会のお知らせ

滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成21年度定例総会を左記の要項により開催いたします。

平成20年11月8日に、創立一一〇周年・旧膳所藩校遵義堂設立二〇〇年の記念式典が挙行されました。

ラグビー部創部60周年記念事業 ニュージージーランド遠征リポート



膳所高校ラグビー部OB会主催、創部60周年記念事業として、2008年7月31日〜8月6日の間、船橋寛明OB会長を団長に、池田、東谷、上田の3先生方、松下、澤村、中川の3コーチ、1年生から3年生までの選手、マネージャー総勢39名でのレポートです。

7月31日 午後3時膳所高校を出発し、関西空港へ。夜、ニュージージーランド航空にて一路オークランドへ。

8月1日 朝オークランドに到着。入国審査の後、小雨混じりの市内へ。昼食の後ホテルへチェックイン、すぐに着替えて、オークランド博物館前の芝生広場へ。今回の遠征全行程に帯同してくれるマープコーチの指導で、移動の疲れを解した。

8月2日 雨、グラウンドは全てクローズ。午前中は、個人練習が中心のトレーニング。昼食はグループ毎にオークランド市内へ。レストランでは、英語を使う良い経験になったようだ。スタップも同様に市内へ。そこで偶然にも、今夜行われる、ニュージージーランド、オーストラリア、南アフリカの対抗戦に出場するオールブラックスのイベントに遭遇、そこでボールをゲット。元キャプテンのウエイン・シエルフオード、世界最高レベルのWTBジョー・ロコソコ選手にサインまでもらった。



夜は、みんなが楽しみにしていた3ヶ国対抗戦、オールブラックス対オーストラリア戦を満員のスタンド、オールブラックスベンチ裏前列で観戦した。

8月3日 オークランドからクライストチャーチへ移動。当地でもこのところ数週間降り続く雨でグラウンドが使えず、ネットボール場でのトレーニングとなった。又、雨が降ると、緑の芝生を維持する為、全てのグラウンドはクローズされると言う文化

にも触れた。

8月4日 午後のヒルモートン高校とのゲームに備え、午前中は軽めのトレーニング。ヒルモートン高校では、マオリの儀式に則した神聖な歓迎式典で迎えられ、マオリの歌と膳所高校校歌の交換で交流をした。校長先生は日本語の先生で、日本語の授業も有り、流暢な日本語でスピーチをされた。

午後のゲームでは、日本の選手とは全く違う突進

やボディーバランスを肌で感じる事が出来たようだ。ゲームは前半3トライを取られたものの、後半には1トライを返し、力一杯戦ってくれた。

ゲームの後は、記念品の交換や身振りを入れての会話で交流した。

8月5日 今日は最後の日。それぞれが市内観光、ショッピング等を楽しんだ。

8月6日 早朝4時にホテルを出発。貴重な体験と、たくさん思い出を胸に帰国の途に。

今回の創部60周年記念ニュージージーランド遠征では、世界最高峰の試合の観戦や地元高校との試合と交

流、また英語力の実践、環境、文化、風習の違い等、ラグビーのみならず、勉学や仕事、これからの人生を過ごすうえにおいても有意義な遠征でした。(船橋寛明)



百十周年記念行事を終えて

教頭 武友 建史

11月8日、本校の創立百十周年式典が近隣地域、同窓会、PTAの代表等臨席のもとに挙行されました。今年旧藩校の遵義堂創建から二百年にもあたり、歴史の節目に居ることを在校生に意識してほしいと考え、マスケットキャラクターを募集、多くの応募作から二十一世紀の膳所高校へタイムスリップしてきたさくらの妖精「じゅんぎ丸」が最優秀に選ばれ、式典の中で紹介、表彰されました。

式典と併せて実施した記念講演ではNHKの「プロフェッショナル」にも出演された英語講師の竹岡広信先生に「自分の殻を破るために」と題してお話いただきました。自らの指導体験を振り返りながら、生徒自身の志の高さが自らを伸ばす原動力で

あると、生徒を励まされました。

午後からは学校見学会を行い、主に班活動の成果や、図書委員会の企画等を見ていただく機会としました。あいにくの天候でしたが、参加者は一般約330人、中学生約100人、合計約430人でした。またこの時期に合わせた記念事業の一環として、11月1日〜16日、水環境科学館を会場にして11の班が参加する合同発表会が行われ、来館する県民や子どもたちに対して日頃の活動をわかりやすく発表し、好評を博しました。

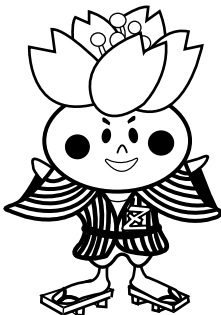
今後も百二十周年へ向けて語り継ぐべきことをまとめ、さらに着実に歩んでいきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。



記念講演 竹岡 広信先生



生徒会長 堀内 翔平さん挨拶



マスコットキャラクター
じゅんぎ丸
佐々木 良介さん作

膳所高等学校吹奏楽班OB会
第3回OB合同演奏会
〈吹奏楽班創班50周年記念〉



膳所高校吹奏楽班OB会は、第3回OB合同演奏会を2009年2月1日(日)午後2時から栗東芸術文化会館「さくら」大ホールにて開催しました。昭和39年卒を筆頭に、平成20年卒まで幅広い年代のOB総勢58名が演奏者として参加するとともに、演奏会を支えるスタッフとしても10名以上のOBが参加し、演奏会を滞りなく演出し、盛り上げました。昨年からはじめて50歳以上の会員のプロジェクトに

で、思い出話の中から、昭和31(1956)年春の野球甲子園出場応援の翌年に膳所高ブラスバンドが誕生したという事実が判明しました。それから半世紀が経ち、現在の高校生の安定した活躍の背景には、それぞれの世代の汗と涙と笑い、苦しみと喜びの積み重ねが、50年以上の間、連綿と続いてきたからこそに違いないことに思いを馳せ、会員一同感無量でした。今回の演奏会は、こうした経緯を踏まえ、創班50周年記念と銘打ち、改めて歴代関係各位への感謝と畏敬の念を表すこととしたものです。

この膳所高等学校吹奏楽班OB会の有志で行う演奏会は一昨年1月に続いて3回目でした。当初はOBの自発的な参加希望者のみでメンバーを構成する予定でしたが、パートごとに有志の集まり具合にはらつきがあったこともきっかけで、顧問の先生方、そして現役班員たちのご理解とご協力を得て、今回初めて現役生の賛助出演と合同演奏が実現し、我々の歴史に新たなページを加えることができました。今回の演奏はOBたちにとってはこの上なく良い思い出となりましたし、また現役生たちにとっても今後の活動によりよい刺激になることを祈念しています。

演奏者たちは年代層も幅広く、一人ひとりの職業も立場も様々ですが、ひとたびステージに乗ると、そこでは皆等しく一演奏者。演奏を楽しみ、素敵な音楽を追求する姿勢はみな同じで、高校生活という青春の大事な一コマに同じ班活動を選んだ縁から、親子以上の年の差でも世代を超越して切磋琢磨し、また、和気藹々と語り合い、この稀有な集まりを存分に楽しんで演奏しました。懐かしい曲の数々や、当時悔しかった演奏のリベンジも加えた盛りだくさんのプログラムに参加者それぞれ思いも加わって、この上なく情熱的なものとなりました。そして、演奏会終了後には、打ち上げを兼ねての臨時総会と懇親会を開催し、聴衆として参加したOBも加わって親睦を深めました。

当日はOB会員や友人、家族の他に、一般の方々にもご来場いただき、500名以上の方々々に演奏を聴いていただきました。この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

演奏会のアンコールでは、現役生39人も、また楽器を持って馳せ参じた当日飛び入りのOBたちも含め全員が舞台上がり、スーザのマーチと、米国出張中の会員がこの日のために特別編曲した校歌を演奏し、立錐の余地もない舞台での大合奏に客席の聴衆全員も大合唱で加わり、会場全体が音楽にあふれて盛大裏に感動の幕を閉じました。

◆ホームページ
http://www.cable-net.ne.jp/user/yokota-m/zhob/
(膳所高校吹奏楽班OB会会長伏木雅人 昭和49年卒 mfuishiki@yhb.ne.jp)

「膳所高のブラスバンド」

一枚の写真がある。高校野球の甲子園のスタンドで歓声を挙げていた膳所高生の群れが写っている。楽器を持った生徒も多数いる。この写真は昭和31年4月5日のものだ。前年、近畿大会で優勝して、選抜高校野球大会に出場した膳所高は初戦、強豪中京商業と激突、2対1で敗れた。写真は1点を入れたときのもので、スタンドの興奮が伝わってくる。

しかし、昭和31年にはまだ膳所高にはブラスバンドはなかった。膳所高に吹奏楽が響く1年前である。では、膳所高の帽子をかぶって楽器を演奏していたのは誰なのか。

膳所高では甲子園に出場が決まり、ブラスバンドで応援の希望があったのだろう。今なら珍しくもない風景ではあるが、当時、ブラスバンドを伴った応援は少なく、たいていは鐘と太鼓が中心で、吹奏楽のある学校さえ少なかった。膳所高はすでにブラスバンドのあった大津市内の中学校に目を付けたのだ。実はここで楽器を持っているのは、大津少年吹奏楽団の中学生で、粟津中学と打出中学の生徒が中心になっていたと思われる。

膳所高に初めて吹奏楽が響いたのは、翌昭和32年のことである。この年の春、生徒会の応援団のブラスバンドとして発足した。全メンバーが10人にならないくらいの小さな編成であった。発足を入学式のとくとすれば、4月8日。楽器は全て新品。学校としては破格の出費だったに違いない。(演奏会パンフレットより)



昭和32年卒業 上砂 公昭氏提供

膳所高卒業生寄贈図書
「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次(版次)
高橋 春成 著	生きものの秘境のたひ
沙加戸 弘 著	真宗関係浄瑠璃展開史序説
溜池 良夫 著	国際家族法研究
溜池 良夫 著	国際私法講義

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、更なる充実をめざしてご協力をお願いします。なお、ご寄贈いただく際には同窓会事務局までお知らせください。

シユウヅウ・アツチ・ガリバー展

安土 修三氏(膳高14回・昭和41年卒業)
・日時 平成22年2月27日～4月11日
・場所 滋賀県立近代美術館
大津市瀬田南大萱町1740-1

同窓会事業のご案内

◆プリンスホテルクッキングセミナー

- ・とき 平成21年7月14日(火)
- ・ところ 大津プリンスホテル
- ・参加費 四、〇〇〇円
- ・内容 フランス料理
南仏の太陽がくれた新鮮な
こだわり野菜をまるごと
フレンチに



- ・定員 申込み順、先着20名様限り
- ・参加申し込みいただいた方には詳細を追って連絡いたします。
- ・お申し込みは、同窓会事務局まで
TEL 0777-52414295 または
FAX 0777-52411732
お申し込みください。

◆第14回(平成21年度)ゴルフコンペ

- ・とき 平成21年9月22日(火)
- ・ところ メイプルヒルズゴルフクラブ
甲賀市信楽町田代65
TEL 0748-8213800
- ・スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート
申込み切後各自あて集合時間及び組み合わせ表を追って通知します。
- ・競技方法 ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー
- ・当日会費 一八、〇〇〇円(予定)
但しメンバー・シニアは別料金
- ・表彰式 懇親会・表彰は競技終了後、同会場で行います。
賞品は多数用意しています。
- ・募集人数 30組 120名
- ・定員に達し次第×切とします。

周年記念同窓会

膳中三五会同窓会 (昭和12年卒業)

膳中35回 (昭和12年) 卒業の我々は同窓の宇野君が膳所中学の同窓会の会長をしていたので、一昨年までは膳所中学の同窓会の終了後膳中三五会の同窓会を行っていましたが、宇野君が会長を退任致しましたので、平成20年からは、我々の都合の良い日に開催することになり、平成20年5月31日に交通の便利な、また懐かしい大津の琵琶湖ホテルで開催いたしました。



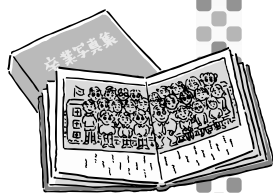
卒業近くになると体の不自由な方も多くなり、今後同窓会を続けるべきか相談の結果、誰かが元気な内は続ける事になり、今年も5月には同窓会を開催する予定しております。現在生存者は15名ですが体の不具合な方、卒業以来一度も同窓会に出席しない方などで出席者は8名程度と思えます。集まれば昔話に花が咲くことと思えます。(小川 良輔)

出席者 宇野 勝、中永政雄、田中捨男、福尾徳保、守村晃太郎、小川良輔、松山 薫、竹内正二、宇野夫人

膳所高55回新成人同窓会 (平成19年卒業)

早朝から雪が降る中、2009年1月12日成人の日到大津プリンスホテルにおいて2006年度膳所高校卒業生同窓会を開催しました。恩師の先生方14名の臨席をはじめ、卒業生約350名と大勢のご出席をいただき、盛大に同窓会を開催することができました。卒業してから早2年。私たちは今まで皆さんの方々の支えを借りて、晴れて成人の日を迎えることができました。そんな良き日に同窓会を開催できたことを非常に嬉しく思います。

懐かしのチャイムである「恋は水色」とともに新校舎のスライドが始まり、学年主任であった奈良先生と同窓会委員長の奥村将太君の乾杯の音頭で開宴しました。1年時、2年時のクラスでのトークタイムを設



け、再会した友と懐かし話を花を咲かせた後、3年のクラスで写真を見ながら〇×クイズを行いました。同窓会委員が知恵を振り絞って考えた難問も、楽々正解されてしまい少し拍子抜けしましたが、それだけ膳所高での思い出が深いものであると嬉しく思いました。また、クイズ中に村上豪君が各クラスに突撃インタビューを行い、会場は大いに盛り上がりました。そんな盛り上がりを見せつつも、楽しい時間はあっという間に過ぎて閉会に近づいてきました。そして次回同窓会委員への引継ぎを行いました。歌をバックに旧校舎のスライドを見ながら、閉会となりました。参加者は皆まだ話し足りないといった様子で、惜しまれながらの閉会となりました。私たちは成人を迎え、これから社会へ踏み出していきます。この先様々な困難にぶつかるとも思いますが、そんな時にこの日を思い出していただければ、心の片隅にそっと思い出をとって置いて下さると幸いです。(佃 亜佑美)



膳中三七会同窓会 (昭和14年卒業)

春の光が真盛り輝きを増し、新緑が一際鮮やかに冴える平成20年5月23日(金)琵琶湖ホテル長等の間において「米寿の会」を催しました。遠くは千葉県、大阪府、三重県又県内などから13名の方々が参加され開催することができました。

想い起こせば昭和14年春、紅顔の美少年130有余名が遵義の桜を後に学窓を巣立って早70星霜、齢も88才米寿の年となり一生に一度の記念すべき節年であること云うことで「米寿の会」と名づけて案内状を差し上げました。しかし、88才米寿の齢と



もなれば出席者も卒業生の1割にも満たず寂しさが身にしみてまいりました。100有余名の多くの方々が残念ながら物故者となられております。我々の在学中は日・支事変が勃発し、卒業2年後には太平洋戦争へと戦火が拡大し、少なからずの級友が犠牲となり国家の礎となられましたし、又、我が齢となれば病魔におかされ亡くなられたり生存していても身体を自由を奪われ行動が越々まよまよになりこのように懇親会に参加することができない方がおられ出席者は大変恵まれた存在であると感謝の念につきないものであります。

私の処生術として、常々思うことは次の3つであります。1は、「せいせい外へ歩いて新鮮な空気を吸い太陽に当たること」2は「食事を十分に塩分・糖分を控えるに摂取すること」3は「他人と会話すること」この3要素が人生長寿の秘訣であると思っております。当日は、先ず別室の撮影室において記念撮影を行い、それから長等の間で懇親開場へと歩を進めました。この年ともなれば恩師の諸先生方のご臨席を仰ぐこともできず、同級生13名が過去の苦しくわが生命の明日もわからない大戦に従軍したことや、廃墟と化した国土の復興に寄与したことや現在の平和になった今の思いを語り合い、本日出来なかつた不参加の方や今は亡き級友の想いを胸にお互いの近況を語り合つてなごやかなうちに予定の時間を過ぎました。

最後に入学時の校歌「春駝蕩の琵琶の湖 霞渡るをうららけき」と卒業時の校歌「草生す城は墟古れど由緒りとうとし遵義堂」の二首を声高らかに斉唱し、本日の「米寿の会」の記念品である鶴里堂の銘菓を手にとり、一年ごとに年をとり、段々寂しくなりますが、みんな輪になり手をとって、助けられたり助けたり。共にあつまり声出して、お茶を飲むのも健康上。水は1日1リットル。何でも食べよう喜んで。塩分あんまり取らぬよう。天気の良い日は散歩して、自分で老化を喰い止めよう。まだまだ続く道のりを。今日も一日元気がよく、明るい明日が待っている。フアイトフアイトがんばろう。(岡本 豊)

膳所中三九会総会 (昭和16年卒業)

昭和16年卒業以来今年で61年。永い年月であった。山根晋君という陸軍士官学校卒の良友が居て、一人々々の友人の名前を書き留め、いろんな苦労をして名簿を作り上げた。戦争なんかの影響もあり止むを得ない場合を除き、先ず例年一回その他色んな機会に同窓の集



まりがあり今年まで来た。今年、京阪神地区の当番で山科ブライトンホテルで会合を持った。東京・北九州を含め会する者17名。生存者66名のうち三分の一ぐらいたった。山科の勸修寺のお庭の風情を楽しんだ後ホテル到着、物故者に対する黙祷後懇親会に移った。在学時代の懐かしい話や自らの身の廻りの話やら楽しく過ごし、来年の集まりを期待し本日の宴を終えた。(大坪 武輝)

旧制膳所中学41回卒同窓会 (昭和18年卒業)

旧制膳所中学41回卒(昭和18年卒)の同窓会で、会名を「本丸会」と称し、毎年一回11月に開催しております。本年は卒業65周年となり、メンバーも全て満83歳という「後期高齢者組」で構成されております。今年11月16日(日)12時から「瀬田川畔あみ定」で開催いたしました。出席は15名でした。



冒頭、既に鬼籍に入られた同期生80名あまりのご冥福を祈って黙祷を捧げた後、懇親会に移り約2時間半、旧交を温め懇談いたしました。話題はやはり健康のこと(本日出席者のうち3名がドクター)、妻の介護や古くはわれわれが戦中派だったころの膳所や軍隊生活の思い出話などでした。遅く生きてきた彼等には一様に素晴らしい人生哲学と云おうか生活信条を持ち合わせており感銘を受けました。

懇親会最終に「膳所中学校校歌」と「琵琶湖周航の歌」を合唱し、また来年の再会を約して散会いたしました。(飯田 勝一)

60周年記念同窓会 (膳所中46回・昭和23年卒業) (旧膳所高・昭和24年卒業)

平成20年11月20日(木)、ホテルボストンプラザ草津(草津市)で卒業60周年の記念同窓会を実施しました。私達は来年年傘寿を迎えます。小学生、中学生の生育の一番大切な時期に、食糧不足でとても苦労しました。現在の贅沢しか知らない人達には、「飢え」がどんなに情けないものか想像も出来ないでしょう。また中学3年から「東レ」に動員され、魚雷と軍用飛行機の

生産に駆りだされまし
た。「東レ」も爆撃され、
当時、舞鶴鎮守府から出
向していた、海軍工作兵
の人達が数人、爆死し
ました。大変な時代でし
た。この兵器工場で、終
戦の玉音放送を聞きま
した。

しかしこんな苦労も
乗り越えた、元気な老人
たちが当日、颯爽と集ま
りました。



今でも現役で活躍し
ている同級生が何人も
います。川島君は体調不良で透析を受けている状態
ですが、草津近辺で透析できる病院を見つけ、はるばる
鎌倉から駆け付けてくれました。彼のフアイトには皆
大変感動しました。

同窓生の物故者の追悼法要を営んでくれた大角君
(比叡山の高僧に君とは失礼だが、同級生の誼)は、
戸津説法(天台座主の登竜門)で現在もひたすら仏道
修行に邁進しておられるのを聞き、身の引き締まる思
いがしました。

歳をとれば、気になるのが健康。しかし健康は与え
られるものではなく、努力により克ちとるものです。
元気な人はそれなりに、さりげなく努力していること
が人の話から分かりました。

次回の傘寿の時も、元気で再会を念じています。
(中村啓一)

古希記念同窓会

(大津東高四会・昭和31年卒業)

〜今を生かされている御蔭に感謝しつつ〜

2年ぶりに、私たち東四会は、秋晴れの、平成20年
10月12日(日)午前11時30分より、琵琶湖ホテル「瑠
璃の間」にて、4組担当の岡田節夫先生のご臨席を仰
ぎ、番外篇としては上々の92名の同期生の参加を得て、
盛大に行われました。式典の部では、今回もまた辻滋
世君の司会により、まず東四会会長椿鐵夫が、事業報
告をもかねて開会の挨拶を行った後、新たに不帰の客
となられた7名の同期生諸君のご冥福を祈って一分間
の黙祷を捧げました。校歌「混濁の湖」の斉唱をもつ
て式典の部を終了。引き続き「ホテル三階のスタジオ」
にて参加者全員の集合写真撮影、会場舞台前で高城宗
求君にカメラマンをお願いしての各組ごとの記念写真
撮影をばさんで、いよいよ12時30分よりパーティーの
部に移りました。冒頭あらためて恩師紹介、記念品の
贈呈を経て、岡田先生に音頭をとっていただいた乾杯、

会食に入りまし。と、あつという間に52年前にタイ
ムスリップ、気心の合った者どうしの話の輪があちこ
ちに出来て、歓談は大いに盛り上がりまし。デザ
トに入った頃、源氏物語千年紀にちなんで、『源氏物語』
朗読家として活躍中の西田久美子さんに、客席のラ
イトを落とした幻想的な雰囲気の中で、「須磨」の帖
より朗読いただき、しばし古典の世界に遊んだあと、
お開きの午後4時も近づいて、全員で「琵琶湖周航の
歌」と「逍遙歌」を立て続けに大合唱。3年後にまた
お出会いする日まで、皆様どうぞお元気です！との高橋
好乃さんの閉会の辞が終わったとき、思わぬハプニン
グ。最後までお付き合いただいた岡田先生の「東四
会万歳」のご発声あり、全員で万歳を三唱、感動的な
幕切れとなりました。

別れ難き面々は連れ
立って、ホテル隣のアー
カス三階のカラオケB
- WAVE に移動、そ
の数55名。大部屋2室
に分かれて、熱唱また
熱唱。予定の2時間を
過ぎてても歌と話は尽き
ず、もう1時間延長。
去り難き気持ちを抱き
つつ、再会を誓い合っ
て散会したときには、
午後8時を回っていま
した。(椿 鐵夫)



55周年記念同窓会

(大津東第1回・昭和28年卒業)

『友へのラブコール』
今や、古希を経た私達。
・小学唱歌「故郷」の一節「何時の日にか帰らん」
その日は、霜月八日。
・みんな待ってるぜ。友よ・仲間よ・いざ帰りなん。
今も大津は「山は青き故郷、水は清き故郷」私達の
故郷。
・語り合おう。あの日を、あの娘を、あの紅顔の美少
年を。そして再会に涙しようではないか!!!
平成20年11月8日(土)、深秋の湖都、大津プリン
スホテルを会場に、同期の輩(ともがら)150名
があい集い、卒業55周年記念同窓会が開催されました。
先ず母校膳所高の21世紀型新校舎を視察の(あの頃
の木造の古典的校舎?と思わず対比:今昔の感にひた
る...)後、会場のホテルへ移動。記念集合写真撮影を
経て、第一部パーティー会場へ集合(テーブルはクラス
単位でセット)。

司会の関守俊雄君に依る開会宣言で開演し、先ず物
故者への黙祷の後、幹事代表による歓迎の挨拶に続く、

で、遠来の関東東一会を代
表し、山元融君による乾杯
の発声、次に同期生の田中
瑩子さんのピアノ伴奏によ
る校歌斉唱、今度は用意さ
れた歌集を手に、昔のクラ
スメイト毎に舞台での青春
歌謡を熱唱熱唱熱唱。

その歌いっぷりは、特に
十八才の高校三年生そのも
ので、実にパッションナブ
ル!当日の圧巻でした。

それを機に、一気に熱気
を帯びた会場風景となり、
テーブル毎の談笑、又、席
を替えての話の輪があちこ
ちにと云った具合で、約二
時間半の時間が、またたく
間にタイムアップで、第二
部の最上階の36階「トップ
・オブ・オーツ」へ。



このフロアは第一部のク
ラス毎の語らいでなく、あの頃の仲間、部活のグルー
プ、又あの頃、互いに憧れ合った人達同士とかの単位
での語らいの場としてセッティングしたもので、又第
一部と異なる明るい談笑の音が、にわかカメラマンの
「こっち向いて、こっち向いて。」の声と共に華やいだ
雰囲気醸し出されたものでした。又、鳥の眼になっ
た同期生が遠視する母校の校舎は、再び想い出が眼の
中に熱いものを沸かせる一刻でもありません。迫り来
る夕刻は、名残りを惜しむ中で、三年後の喜寿の同窓
会を約束して当会のフィナーレとしたものでした。
友よ、又逢おうよ、喜寿の折に!! (川口 浩)

50周年記念同窓会

(膳所高6回・昭和33年卒業)

私たちの膳所高は平成20年10月26日(日)、旅亭「紅
葉」(大津市茶ヶ崎)にて、岡田節夫先生、村田辰夫
先生、山本利達先生の3名の恩師のご臨席を仰ぎ、同
期生153名の参加で盛況に行われました。

膳所高は澤陽子さん・武田栄夫さんの司会進行で始
まり、校歌斉唱に続き、不帰の人となられた恩師・同
期生のご冥福を祈って全員で黙祷を捧げました。実行
委員長の開会挨拶に引き続き、恩師紹介、恩師を代表
して岡田節夫先生からご挨拶をいただき、坂口松太郎
さん(当時の生徒会長)の乾杯の発声で賑やかに開宴
しました。

前回の48周年同窓会から2年余りしか経っておりま
せんでしたが、「同窓会」とは不思議な雰囲気醸し
出す場であって、すぐに50年前の高校生時代に立ち戻

りました。歓談中、川端
博夫さん・鈎孝さんの
謡曲「高砂」の披露、中
島輝仔さんのシャンソ
ン独唱、中村禎子さんい
よる童謡の合唱指導があ
り、弥が上にも盛り上が
りを呈しました。その
後、次回の「膳六会」の
代表に石田義昭さんが選
ばれ、紹介があり、石田
義昭さんから今回は3年
後ということが約束され
ました。



予定した3時間もアツという間に過ぎ、全員が肩を
組んで、「琵琶湖周航の歌」を斉唱し、「仰げば尊し」
を斉唱する中、恩師の先生をお見送りしました。
二次会は階上の別のホールに移動。語らいあり、カ
ラオケありで、こちらも大いに盛り上がりまし。
平成19年7月に第1回準備委員会を開き、8回の会
合を重ねて、今回の「膳六会」に実を結びました。全
国津々浦々から駆け付けてくださった同期生の皆さん
に感謝しております。最後になりましたが、今回の50
周年記念同窓会には、膳所高等学校同窓会本部からお
祝金をいただきありがとうございます。(浅田 幸作)

45周年記念同窓会

(膳所高11回・昭和38年卒業)

瀬田川畔のロイヤルオー
クにて、卒業45周年記念同
窓会が、卒業以来初めての
顔の8名を含めて、参加者
118名、恩師2方のご列
席を得て、盛大に開催され
ました。開宴前のロビーで
は、奥田君の呈茶と元マド
ンナ達による給仕で、あち
こちの集団で早や本番モー
ドの華やいだにぎわい。そ
んな中いよいよ幕開け。荒
谷(旧姓重野)さんの相変
わらずの美声による司会で
スタート。岡田先生の歴史
的な祝辞、前川先生のひか
えめなお言葉。式典に華を
添えていただいた西家(旧
姓中山)さんのピアノ演奏
に心を和ませた後、乾杯へ。
一気に動と騒の世界へ。宴



途中で進行役の石塚君による、遠来の友へのインタビューや稀少クラブの班員への当時のエピソードなど、話題の提供もあって終始和やかな雰囲気が続く。クラス毎にテーブルを配置したせいもあり、あちこちのテーブルで記念写真のフラッシュが光り、絶え間のない笑い声。体が不自由になったり、体型が変わっても、気分はいつも高校生。食べ、飲み、笑い、そして大いに語り合い、時の経過を忘れたひと時でした。楽しい時が経つのは早く、あつという間にフィナーレへ。名残を惜しみつつも、再会を約しての閉会となりました。まだ去りがたく、二次会も活況でした。なお、サテライト行事の38会ゴルフコンペにも27名の参加で多いに楽しんだこと、毎年50名程度の有志による新年会が開催されていること、関東Z38会の開催がスタートしたことを付記します。

(小笠原 勇)

40周年記念同窓会

(膳所高17回・昭和44年卒業)

さる1月3日(土)、琵琶湖ホテルにおいて膳所高17回卒業生40周年記念同窓会が、恩師布留川裕作先生のご出席の下、110名が出席して盛大に行われました。



35周年の同窓会に続いて5年ぶりの同窓会となりましたが、ベトナム、アメリカからの参加もあり、また、初めての参加者との40年ぶりの再会もあり大いに盛り上がりました。

還暦も近づき、第二の人生を歩みだした人、まだまだ現役で頑張っている人、子育てが終わり今度は親の介護に奮闘中の人、話のつきない同窓会でした。

(笠二 正人)

30周年記念同窓会

(膳所高26回 昭和53年卒業)

北京オリンピック開幕の翌日、平成20年8月9日(土)、卒業30周年記念同窓会を大津プリンスホテルにおいて開催しました。8名の先生方、同窓会会長浅田先生のご出席を賜り、同級生108名が参加。物故者に黙祷を捧げ、堀賢英先生にご祝辞を山口茂先生に乾杯のご発声をいただき開宴となりました。

学年の同窓会は、4回目ですが今回はじめて参加という人も多く、変貌(?)ぶりに驚いたり名前を

確認しあつたりしながら楽しく食事と歓談がはじまりました。同級生でも知らない人も

いるし、全員と話ができるわけではありませんが、参加しているひとりひとりの顔が見えて、声が聞ける会にしたいと三年のクラス別に先生もごいっしょにステージに上がりひとりひとりの挨拶をお願いしたところ皆さん、高校時代のことや今のことなどを話してくださり、なごやかなひとときとなりました。

最後に応援団所属だった同級生にエールをお願いして、皆で輪になり校歌を歌い、名ごりおしい思いの中お開きとなりました。

二次会はホテル内で70名余りの参加でにぎやかに会話ははずんでいきました。そのあとは思い思いに三次会、四次会と日が変わるまで楽しまれた方もいるようです。

また、今回の同窓会をきっかけに旧交をあたためたり新しいつながりができたという話も聞かえて嬉しく思っています。

次回は、35周年を2013年に予定していますので、多数ご参加くださいますようお願いいたします。なお、会計残高の一部を在校生のために使っていただきたく膳所高へ贈りました。皆さんありがとうございました。

(秋山 洋子)

20周年記念同窓会

(膳所高36回・昭和63年卒業)

平成21年1月3日(土)正午、昭和63年3月卒業生「初」の学年同窓会を琵琶湖ホテル瑠璃の間で開催したところ、恩師11名を迎え総勢172名が集う盛会となりました。

故・村西康彦先生と4名の仲間が黙祷を捧げた後、伊藤美樹子さん、青木敏さんの司会で会は和やかに進みました。乾杯のご発声は学年主任・向井了暢先生。当時と今日の私たちを褒めるお言葉に、一同面映ゆい思いがしました。

歓談中、会場には野球班や花園出場ラグビー班の活躍ぶり、旧校舎や美富士のその後を伝える田中彰さん編集の映像に加え、アルバムの各学級集合写真の拡大コピーも用意され、出席者は20も並んだ円卓を行ったり来たり、拡大コピーの前で記念写真を撮ったりと忙しく、3時間半が瞬く間。途中、別件でホテルにいらした理科の藤田健三先生が立ち寄られ、「集まれた



者は、集まれなかつた者の無事を祈る思いも込めて『おめでとう』と言いたい。』とのお言葉をいただくひとコマもありました。

山場は各恩師のスピーチ。竹内宗男先生から「2年2組のみんなとの出会いは私の教育観を変えた」、藤本志郎先生から「LHRで外へ出るとなると、言われずとも自発的に机を下げ先に掃除の準備をするなど、上手にやるなど感心した」、中川淳先生から「みんなを卒業させたことに十分な満足感があった。」など、さらに褒められ、そんなに私たちですごい?!と思いきや、山崎敏先生「膳所高生は外では賢そうに振舞うが一步校門に入るとアホになる。まさに君らはそうだった。」発言でオチがついて爆笑。やつぱり、アホだったんですね! (紙幅の都合で他の先生方ごめんなさい……)

全員円陣で「琵琶湖周航の歌」の後、最大の功労者・村木康弘さんの挨拶でお開き。次回は30周年?かどうかは未定ですが、みんなのコミュニケーションを深める一助と、田澤宏幸さんがYahoo!グループ同窓会サイト開設のお世話をしてくださいます。登録がまだの人や欠席した人は、Yahoo!トップページから新規ID取得(既有的の方は不要)の上、shuji.yz@zeze.scs-owner@yahoo.co.jp へお名前とメールアドレスを知らせてください。涉外や会計に尽力いただいた望月泰男さん、美しい案内状や式次第をデザインしてくれた中西敏さんはじめ世話役の皆様、どうもありがとうございました。(舟橋 秀晃)



10周年記念同窓会

(膳所高45回・平成9年卒業)

2008年2月、膳所高97年度卒業生12人が、東京・六本木のとあるバーにいた。そのうちの一人が東京で仕事をすることに、彼の呼びかけのもと、東京にいる膳所高同期が集まった。といっても、交流があったメンバーが集まった訳ではなく、私に至っては、全くとない同期もいた。しかし、「ただ、膳所高同期というだけで、話は盛り上がった。気付けば場所を居酒屋に移し朝まで飲んでた。久々の再会の勢いかお酒の勢いかは覚えていないが、とにかくその日のうちに、30歳になる今年、膳所高同期の同窓会を全クラスでや

ろうということになった。

それから10カ月経った12月30日、琵琶湖のほとりにあるホテルの宴会場で卒業以来初の全11クラス同窓会が行われた。卒業から12年という月日が経ち、果たして人が集まるのか、大晦日前の多忙な日にどのくらいの人に来てくれるのか、集まったとして盛り上がるのか?不安だらけの幹事団ではあったが、宴が始まればそんな不安は一気に吹き飛んだ。およそ170人が一堂に会し、恩師の先生方にも参加頂き、あつという間の2時間が過ぎ去った。ただ「膳所高同期というだけで、一体感、連帯感、安心感が溢れる心地いい2時間が生み出された。卒業から10年以上経った今、」ただ「同じ高校で過ごしたということがとても大切なことに感じた一時だった。」

(湯野 大輔)



第3回バレーボール部 O.B.・O.G.会開催

平成20年11月29日に88名のO.B.・O.G.が集まり、第一部として膳所高校体育館にてバレーボールの試合のひと時を持ち、先輩、後輩入り乱れて試合を行った。最後には現役との試合を行い楽しい時間を過ごした。その後、現バレーボール部顧問の今井先生の案内で、新校舎の見学を行い、校舎からの近江大橋近辺の素晴らしい風景を楽しみました。

そのあと、場所をアヤハレークサイドホテルに移し、楽しい食事を開催、昭和24年卒から平成15年卒までの部員が楽しいひと時を過ごした。そして星山相基(昭和32年卒)を新会長に承認して、次回の開催を約束して散会した。

お願い!平成16年以降のO.B.・O.G.の名簿がありません。是非登録のほどお願いします。

(O.B.会事務局 村田 毅 昭和36年卒)



周年記念同窓会 予告

膳所高56回新成人同窓会

(膳所高56回・平成20年卒業)

- 日時 平成22年1月11日(日) 成人式後
- 会場 大津プリンスホテル
- 参加費 一〇,〇〇〇円
- 連絡先 福井 恒誠 TEL077・582・9340

30周年記念同窓会

(膳所高27回・昭和54年卒業)

- 日時 平成21年5月4日(月)
- 午後1時～4時(正午から受付を開始します)
- 会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間(3階)
- (大津市浜町2-40、京阪電車「浜大津駅」から徒歩5分)
- 参加費 一〇,〇〇〇円
- 連絡先 大田 伊久雄 TEL077・562・3077

同窓会当日午前中は膳所高校校舎前(10時に現地集合)を開催します。同窓会終了後は、2次会や3次会も設定していますので、2次会からでも遠慮なくご参加下さい。

45周年記念同窓会

(膳所高12回・昭和39年卒業)

- 日時 平成21年9月27日(日) 午後2時30分～5時30分
- 会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
- 参加費 一〇,〇〇〇円
- 連絡先 河原林 晋・山田 誠一(詳細は近江中にご案内いたします)

50周年記念同窓会

(膳所高7回・昭和34年卒業)

- 日時 平成21年11月22日(日) 午前11時～
- 会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
- 連絡先 遠藤 仁兵衛 TEL077・522・3173

55周年記念同窓会

(大津東高2回・昭和29年卒業)

- 日時 平成21年9月26日(土) 午後12時開会
- 会場 琵琶湖ホテル
- 代表幹事 蒲生 容仁
- 連絡先 TEL077・523・2435
- FAX077・526・1610
- (TEL077・526・1610)
- (詳細については別途ご案内いたします)

60周年記念同窓会(真珠会)

(大津高(旧大津)・昭和24年卒業)

- 日時 平成21年6月3日(水) 詳細は後日決定後お知らせいたします
- 連絡先 佐田 葉子 TEL077・522・0025

二六会同窓会(大津高2回・昭和26年卒業)

- 日時 平成21年10月21日(水) 受付 午前11時
- 会場 ロイヤルオークホテル
- 連絡先 澤野 憲太郎 TEL077・534・3230

傘寿記念同窓会

(膳所中46回・昭和23年卒業)

- 日時 平成21年11月14日(土) 午前10時30分 受付
- 会場 ライスウィル都賀山 ロータスの間(守山駅東口徒歩3分)
- 参加費 一〇,〇〇〇円程度
- 連絡先 杉江 良太(旧姓岡野)(詳細は追って連絡します)
- TEL077・585・3266

今も心に残る恩師

「いい気なもんだ。」

——高山先生の一言——

膳所中37回 昭和14年卒業 溜池 良夫

それは、日中戦争前夜の昭和11年、膳所3年生の高山先生先生の歴史の時間のことであった。授業がたまたま1915年のかの「対華二十一条要求」に及んだ時のことある。それまでの温和な先生の表情が一変した。そして、激しい口調で「いい気なもんだ。こんな要求をして。もし、外国が日本にこんな要求をしてきたら、日本国民はどんな気持ちになるのか。」と一喝された。先生のこの一言は、当時の私にとって、まさに驚天動地の衝撃であった。

幼少よりの極端な国家主義教育のもと、中国大陸における権益の拡大を図るわが国の歴史はすべて正しいと信じて疑わず、中国人に対しても、時に蔑称で呼ぶなど見下し、人とも思わぬ風潮のもと、その心情を察するなど全く思いも及ばなかった。先生の一言は、そんな私を痛撃した。私は目が覚める思いがした。今にして思えば、それは、私が精神的に自立し、批判的精神、すなわち、物事の是非を、何ものにもとらわれず、自ら判断すべきことを知った瞬間であった。

先生には、近代日本の礎石となつて散つて行った憂国の俊秀達を讃えて作詞作曲された「松下村塾賛歌」の一遍がある。当時としては、勇気を要した先生のあの一言は、その後わが国がたどつた悲劇への途を思うとき、歴史の授業に事寄せて、当時のわが国の大陸政策の行き着く先を案じて発せられた憂国の警鐘であつたと思われてならない。

ともあれ、あれから七十余年。仕事茫茫のなか「いい気なもんだ。」、私の世界観を一変させたあの一言を発せられた時の先生のあの声、あの顔を今も鮮明に思い出す。

「草生す城は……」に想つ

昭和25年旧大津高卒業 高橋 勉

昭和19年の秋も深まったころでした。朝礼のときにハブさんの送別会が行われると聞いて、私たちは意外な気がしました。軍人でもないハブさんが、中年を過ぎてから出征するなんて考えられなかった

からです。

ハブさんというのは、沖縄出身の山田有功先生の渾名です。勤続23年の膳中の名物教師で「草生す城は……」の作詞家。当時は教頭をしておられました。指揮台の上上がったハブさんは、小さな体から絞り出すような声で、言葉少なに惜別の言葉を述べられました。

「フイリビンのレイテ島を奪還した米軍の沖繩上陸は焦眉の間に迫った。私は沖繩に帰って、郷里の同胞とともに戦おうと思う。学園生活は困難をきわめているが、諸君も本土決戦に備えて、文武両道に精進するように。さらばである！」

指揮台を降り、静かな足どりで去っていくハブさんを惜しむように、だれかが「草生す城は……」と歌いだし、すぐにそれは校庭に整列した全校生徒の大合唱に変わりました。膳中生の教育に心血を注いできたハブさんは、みずからの思いの丈をこめて作詞した校歌を生徒たちが歌うのを聞いて、どんな気持ちだったでしょう。想像するにあまりあるものがあります。

私は「草生す城は……」の校歌を歌うたびに、ハブさんを送別した日のことが忘れられません。

「先生の思い出」

昭和33年卒 古賀 泰子

「漢文」の波多野久男先生は、坊主頭に口ひげの精悍な風貌。「出師の表」や「赤壁の賦」を学んだ後、土井晩翠の『星落秋風五丈原』を、朗々と暗唱して下さった。『三国志』の世界に胸躍らせていた私は、うっとり聞きほれ、仲達と何度も闘った五丈原で、武運拙く病没した誠の人・軍師孔明を想つたものだ。「国語甲」の松山義夫先生も音読を大切にされ、歯切れのいい講義は、耳に心地よく、ノートを取り忘れては、テスト前に苦労した。光源氏を想わせる「国語乙」の山本利達先生には意地悪な質問をして困らせた記憶がある。「源氏物語千年紀」の昨年、「源氏」の権威である先生のお名前をしばしば拝見しました。

私自身、大阪の私学の国語教師で四〇年。今は、年金生活を楽しんでいます。思えば、膳所高時代に先生方に恵まれ、ラジオから流れる吉川幸次郎の中国語音直読の杜甫や李白の詩に魅了され、いつの間

にか、国語教師への道を歩み始めていたのかもしれない。

「美術を教えていた父・山崎興嗣夫のこと」

昭和40年卒業 星野 良子

昨年(2008年)の12月、父の一周忌をしました。その前の年(2007年)に97才で亡くなりました。父は膳所高校に29年間ぐらい勤務していました。

美術の時間に、授業中ちがう教科の勉強をしている学生がいて、時々チョークを投げたこともあったが、そういう生徒の方が東大や京大に受かっていったという事を言っていた父を思い出します。父の思い出としては、私が小学校の頃、時々父は杉浦重剛先生(父は決まって、先生という言葉をつかっていった。)の石碑が立っている茶臼山に朝食の前、鳥の声を聞く為か、今どんな植物が芽を吹いているかという為だったのか、自分の身体の為だったのか、散歩の時に私も一緒に歩いて行って、鳥の名前や植物の名前など季節の植物など教えてもらった。いろいろな事をいろんな場面で教えてもらったと思う。

父は80才の時、瀬田の通徳寺の襖絵を6枚描きました。この作品は七条(京都)のところに絵画専門学校(京都絵専)といいました。今の京都芸術大学の前身です。に通っていた時、ちょうどその頃、福田平八郎先生が教鞭を執っておられた時期で、福田先生の故郷である九州の宮崎に寄せてもらって熱帯植物などのスケッチを基にして描かれた作品です。鳥は村娘という珍しい鳥で、嘴は赤でからだは紫色という珍しい鳥です。蝶々はスケッチも何枚もしていたのですが、昆虫採集なども見に行つての制作でした。瀬田の方に行かれましたら、寄つて見て下さい。

90才の時、脳梗塞で倒れて、リハビリで歩けるようになったのですが、滋賀里の愛和ホームにお世話になってからは、車椅子の生活でした。96才くらいまでは、美術館、博物館、歴史館などにはよく一緒に行きました。2007年7月に私の出品した展覧会にも父は来てくれました。父が描いている作品の中に、40才代頃に描いたと思う膳所高校のポर्ट部の人達がオールを持って歩いている作品(2000号日本画)と私の作品(100号2点洋画)を新校舎のお祝として寄贈いたしました。ご覧いただけばうれしく思います。

第57回卒業式



平成21年3月2日、本校体育館に於いて、第57回膳所高等学校卒業証書授与式が行われ、普通科396名、理数科40名、計436名が自信と誇りを持って新たな旅立ちをした。

本年度は、全県一区という新しい入試制度で入学してきた最初の学年の卒業であり、また、新校舎で三年間を過ごした初めての学年の卒業でもあった。

式は、浅田同窓会長、今市同常任理事長、小西同総務部会長、元校長武原先生、西岡先生、大崎先生、父母教師の会会長、同副会長、旧職員西谷・太田両先生を来賓に迎え、在校生（2年生全員、1年生各クラス代表2名）、教職員出席のもと盛大に開催された。

3年生は各クラス担任から呼名され、卒業証書が各クラス代表に授与された。河原恵校長は、式辞の中で「これからの知識基盤社会において、様々な課題の解決に力を発揮するために、3年間で培った自分の基礎力を信じ、仲間を信じ、力強く人生を歩んでいってもらいたい。」旨の言葉をはなむけとされた。

「卒業生の言葉」では、壇上の丹羽明穂君・奥村友佳さんと、各クラス席中央に起立した各クラス代表が、入学時からの思い出と、感謝の言葉を順次述べ、最後に、「未来という名の新しいキャンパスに、新しい絵を描くために卒業する。」と述べた。その後、卒業生全員が

「旅立ちの日に」を合唱し、吹奏楽班による「GIFT」の演奏の中、出席者の拍手を浴びながら会場を後にした。



また、これに先立って、2月27日に、同窓会入会式と卒業記念品目録贈呈式が行われた。同窓会入会式では、浅田、小西両氏からお祝いの言葉をいただき、代表の3年10組速水萌さんが「入会のことば」を述べた。卒業記念品目録贈呈式では、代表の3年6組川端健太郎君が、製水機、図書館用書架、記念植樹用桜の目録を贈呈した。

班活動報告

平成20年度班活動結果

- 報道部**
 - 放送班
 - 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト
 - アナウンス部門準々決勝進出 奥山詩雨
 - 制作ラジオドラマ部門準々決勝進出 西村恵美
 - 作品名「I☆遺伝子（あいであてていー）」
 - 制作テレビドラマ部門準々決勝進出 作品名「信友（しんゆう）」
- 体育部**
 - 空手道班
 - 全国高校総体 女子団体組手 出場 中山咲良
 - 女子個人形 出場 中川今日子
 - 体操班
 - 全国高校総体 新体操女子団体 出場
 - 馬術班
 - 全日本高等学校馬術競技大会 団体戦 出場
 - ヨット班
 - 全国高校総体 男子 出場
 - 全国高校選抜大会 男子 出場
 - 陸上
 - 日本ユース選手権 男子800m 4位 山崎貴史
 - 男子800m 出場 山崎貴史
- 文化部**
 - 英語班
 - 第18回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト 3位 茅 薇蕾
 - 第14回フレンドシップカップ・レシテーションコンテスト 優良賞 茅 薇蕾
 - 第3回全国高校生英語ティベート大会 19位 安芸隼人、伊庭薫里、速水成美、山内彩藻、池之 昂
 - 音楽班合唱部
 - 全国高校生かるたグランプリinつがる市かるた班 団体優勝
 - 全国高等学校選抜手権大会 団体戦の部 団体3位 藤井素宇
 - 個人戦の部 A級 4位 田中祥太郎
 - B1級 優勝 落合友里恵
 - C1級 4位 青合美佳
 - D2級 4位 長尾恭平
 - D4級 4位 三嶋泰広
 - 谷口恵香
 - 書道班
 - 全国高等学校総合文化祭 競技の部 団体3位
 - 読手の部 優秀賞 上原美翔
 - 第4回安芸全国書展高校生大会 入賞 小出紗弓、古川 直、内藤千温、栗田知美、廣川 冨
 - 第39回近江神宮全国献書大会 滋賀県書教育研究会会長賞 尾崎由布子 献書会賞 小出紗弓
 - 第17回国際高校生選抜書展 優秀賞 小川 直
 - 入賞 小出紗弓、尾崎由布子、内藤千温
 - 武庫川女子大学全国高等学校書道展 学長賞 廣川 冨
 - 特選 内藤千温、栗田知美
 - 団体優勝（全国1位）
 - 生物班
 - 第11回日本水大賞 論文提出
 - 弁論班
 - 全国中学・高校ティベート選手権 高校の部 ベスト16

サクサク！主要大学合格者

国立大学	私立大学
京都大 45名	お茶の水女子大 1名
大阪大 42名	東京学芸大 1名
神戸大 32名	東京工業大 1名
滋賀大 19名	福井大 1名
京都工芸繊維大 15名	三重大 1名
滋賀医大 8名	鳥取大 1名
東京大 7名	長崎大 1名
京都教育大 7名	鹿児島大 1名
横浜国立大 6名	琉球大 1名
北海道大 5名	(公立大学)
名古屋大 5名	京都府立大 11名
奈良女子大 5名	大阪市立大 10名
金沢大 3名	大阪府立大 8名
大阪教育大 3名	京都府立医大 6名
広島大 3名	京都市立芸大 3名
九州大 3名	横浜市立大 2名
静岡大 3名	奈良県立医大 2名
千葉大 2名	名古屋市立大 2名
岡山大 2名	滋賀県立大 2名
徳島大 2名	首都大東京 1名
信州大 2名	神戸市外大 1名
高知大 2名	岐阜薬大 1名
名古屋工大 2名	(その他)
東北大 1名	京都府立看短大 1名
筑波大 1名	防衛医科大学校 1名
	大阪市立看護専 1名
	立命館大 2名
	同志社大 2名
	龍谷大 2名
	関西大 2名
	京都薬大 2名
	関西学院大 27名
	早稲田大 22名
	同志社女子大 18名
	近畿大 17名
	京都産業大 16名
	専修大 14名
	東海大 14名
	東京薬大 9名
	日本大 8名
	日本獣医生命科学大 7名
	立教大 7名
	慶応大 7名
	東京理大 7名
	京都外大 5名
	愛知医大 5名
	藤田保健衛生大 5名
	長浜バイオ大 4名
	大谷大 4名
	京都医療科学大 3名
	大阪経大 3名
	大阪歯大 3名
	武庫川女子大 3名
	大阪医大 3名
	大阪樟蔭女子大 3名
	広島国際大 2名
	北里大 273名
	帝京大 102名
	鈴鹿医療科学大 39名
	大阪工大 39名
	関西医大 32名
	藍野大 32名
	神戸女子大 27名
	自治医大 22名
	芝浦工大 18名
	昭和 17名
	専修大 16名
	東海大 14名
	東京薬大 9名
	日本大 8名
	日本獣医生命科学大 7名
	立教大 7名
	慶応大 7名
	東京理大 7名
	京都外大 5名
	愛知医大 5名
	藤田保健衛生大 5名
	長浜バイオ大 4名
	大谷大 4名
	京都医療科学大 3名
	大阪経大 3名
	大阪歯大 3名
	武庫川女子大 3名
	大阪医大 3名
	大阪樟蔭女子大 3名
	広島国際大 2名

寄稿のお願い

次号（JUNGIIDO27号）で、校歌特集を予定しています。我が校には、膳所中から現在まで校名の変更と共に5つの校歌・追送歌があります。それぞれが学ばれた時代の校歌にまつわるエピソード、思い出等を400字程度にまとめてお寄せ下さい。締め切り 平成22年2月末日

編集後記

平成4年に同窓会組織が整い広報部が出来て同窓会報復刊号のタイトルJUNGIIDOが決まってあしかけ18年、早26号になりました。創立百周年の特集号は初めてカラーで、平成19年秋、校舎の新築・グラウンドの竣工式、平成20年秋、創立百周年記念式典等学校行事のその年々のかげえのない一頁を綴り続けた広報部に携わられた日々を想うと感無量です。（Y.S.）定年退職しました。でも同窓会では若手。先日の理事会も高齢の方の出席が多かったです。共に広報部活動をしてくださる幅広い年代からのご参加をお待ちしています。（S.T.）

- 上野滋子（東2）・佐田葉子（旧大）・松村暢江（膳10）
- 山田 勲（膳11）・東郷重明（膳15）・藤原陽子（膳16）
- 岡澤則子（膳26）・堀井美香（膳33）・井上正雄（総務）
- 直村かほる（総務）